

すぜんじ史跡ウォーキング (山口市)

知っ得情報！ すぜんじ史跡ウォーキング

- ・ 出発点：山口市鑄銭司地域交流センター
- ・ 所在地：山口市鑄銭司 5435 番地 1
- ・ トイレ： 平日は地域交流センターでお借りできますが、土日などの閉館日は、近くの長沢池そばにあるドライインが利用できます。

今回は、山口市鑄銭司地域交流センターを拠点に、鑄銭司地域内に点在する史跡をめぐるルート歩きました。

コース決定にあたっては、「すぜんじ史跡ウォーキングマップ」(発行：鑄銭司地域づくり協議会・鑄銭司蔵六コミュニティスポーツクラブ)を参考にさせていただきました。意外と知らない地元の歴史を、再認識できたウォーキングになりました。

スタッフが歩いたコース

鑄銭司地域交流センター (スタート) 大村益次郎誕生地 黒山八幡宮 顕孝院 鑄銭司地域交流センター (ゴール)



■歴史と物流の拠点 鑄銭司

明治維新の功臣 大村益次郎誕生の地として知られる山口市鑄銭司は、地域の中心を通る国道2号線と、山陽自動車道のインターチェンジがあることから、運送会社等の物流の拠点となっている一方、長州藩最初の人造湖である長沢池や、平安時代の国貨貨幣鑄造所の遺跡(国指定史跡)があるなど、歴史を感じさせる町でもあります。

出発点の鑄銭司地域交流センターに車をとめさせてもらい、史跡をめぐるウォーキングにいざ出発！まずは最初の目的地、大村益次郎誕生地を目指します。

JR山陽本線の沿線に交流センターがあるのですが、大村益次郎誕生地に行くためには、線路を越えなければいけません。踏切がありました、少し離れていたため、今回は時間の都合もあってちょっと省略・・・目の前のJR四辻駅に近づいてみると、線路下をくぐって反対側にまわるための通路を発見！！みなさんがウォーキングされる時、踏切を渡る際は気をつけてくださいね。



JR四辻駅は、現役の古い木造駅舎として、以前NHKで放送された番組「にっぽん木造駅舎の旅」でも取り上げられ、写真を撮りに来る方もいるそうです。



このオブジェを目指して、歩きましょう。ここまで来ると、右手すぐの場所に目的地があります。



駅舎を背にして右手を見ると、三差路が見えます。そこを左に曲がって、大村益次郎誕生地に向かいます。

すでに稲刈りを終えた田んぼを眺めながら、まっすぐ歩いていくと、国道2号線から山口県セミナーパークに通じる道路にぶつかりました。2つの道路が交差した場所の角が、大村益次郎誕生地です。

■大村益次郎誕生地

きれいに整備されているこの場所は、あまり広くはありませんが、記念碑とともにベンチが設置されているので、ウォーキング途中の休憩場所には最適です。駅側からの入り口には駐車場もありますよ。ちなみにこの誕生地、秋穂町にもあるのだとか。

大村益次郎については、司馬遼太郎の小説「花神」がNHK大河ドラマにもなったことからご存知の方も多いと思いますが、幕末・維新に活躍し、維新の十傑として有名です。

医者時代を経て後に兵学を修め、長州討伐や戊辰戦争時、勝利の立役者として名を知らしめ、日本陸軍の事実上の創始者として、九段の靖国神社には銅像が立てられています。長沢池そばには、大村益次郎を祭った大村神社やお墓があります。

往時の中心にあった山口県だからこそ、史跡をめぐるウォーキングを手軽に楽しむことができますね。



鑄銭司の氏神様である、黒山八幡宮の建築様式は山口地方独特で貴重なのだそうですよ。

■黒山八幡宮

続いて、国道2号線の反対側に渡るため、三差路を左に曲がります。2号線から山口県セミナーパーク方面に向かう道の大きな橋は、いつもは車で通り過ぎるだけなのですが、初めて、景色を眺めつつ歩いて渡りました。取材日はとても天気がよく、日差しは秋と思えないほどの強さでしたが、吹きわたる風はとても涼しくて、道端に咲いている美しいコスモスを揺らしていました。

地下道を通って2号線を渡ると、右前方に遠めですが鳥居が見えました。その方向を目指して進んでいくと、黒山八幡宮に到着です。

近くにある臨済宗の寺 顕孝院にも立ち寄り、そこで折り返して帰路につきました。

■すぜんじ史跡ウォーキングマップ

★すぜんじ史跡ウォーキングマップは、鑄銭司地域交流センター(土日祝・年末年始 休館)と鑄銭司郷土館(月曜(祝日の場合はその翌日)・年末年始休館)で配布されています。

取材時は、マップを参考に独自のルートを決めましたが、「すぜんじ史跡ウォーキングマップ」に紹介されている、全長8kmのコースと16kmの2コースも見どころ満載なので、楽しみながらウォーキングができると思います。自分の体力とその日の気分にあわせて、コースを決めてみてはいかがでしょうか？

足に自信のある方は、長沢池付近まで歩いてもいいですし、黒山八幡宮のさらに奥には、もみじ寺として有名な両足寺もあります。紅葉を愛でながらのウォーキングは、これからの季節にぴったりですね。

通り慣れた道でも、あらためて歩いてみると、今まで気づかなかった風景に出会えるのが、ウォーキングの魅力の一つですが、世はまさに歴史ブーム真っ只中！歴史ある場所を訪れる“史跡ウォーキング”で、知的好奇心を満たしてみませんか？

今回車をとめさせてもらった鑄銭司地域交流センターは、駐車場の台数が少ないので、利用者の迷惑にならないよう、大村益次郎誕生地などの駐車場もあわせてご利用ください。

1時間弱歩いて
4,621 歩
でした！



まんぼ